

治療困難な動脈瘤に対する hybrid 手術の 成績を検討する観察研究

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 7 月 22 日から 2019 年 9 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

近年、ステントやコイルなど新しい機器の開発によりカテーテルを用いた脳血管内治療で治療可能な脳動脈瘤が増えています。以前から行われてきた顕微鏡手術と脳血管内治療を適切に選択することで、多くの動脈瘤は治療が可能です。しかし、いずれの治療手段でも治療困難で顕微鏡手術と脳血管内治療を組み合わせた hybrid 治療を要する脳動脈瘤が存在します。通常の方法では治療が難しい動脈瘤に対して2つの治療を組み合わせる行う複雑な治療であるため、合併症の増加が危惧されます。

当施設で治療困難な脳動脈瘤に対して hybrid 治療を要した症例について、治療成績を検討したいと考えています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2015 年 4 月 1 日から 2019 年 6 月 30 日の間に、hybrid 治療を施行した脳動脈瘤を持つ患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、既往歴、動脈瘤の発生部位・大きさ、動脈瘤の血栓化の有無、hybrid 治療の内容などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科科 担当者 波多野武人
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）